平成29年度 都立学校·学校経営シート									
校		都立水元特別支援学校	知的障害	通	<b>五学</b>	区均	葛飾区全域、足立区一部		
辛	监	明るく健康で安心・安全な学校づ	くりの推進	基基	進 路	実 績	都立葛飾特別支援学校への進学、28年度は就業技術科に1名近	進学	
早							① 基礎基本の充実と人権尊重を重視した教育活動を実施する。		
所	在地	曷帥区四水兀五」日2番1方	03-3600-1871	1 + 1 1/2	,, <u></u>	-m -	② アセスメントに基づいた個別指導計画を作成し、計画・評価・引	女善する。	
基プ	クセス	(1) 金町駅北口より京成バス「水元二丁目」下車3分(2) 亀有駅北口より東武バス「水元特別支援学校前」	下車3分	本   教	数 育 D 特	課 档 诗   微	③ 各学部に自閉症学級を設置し、障害の特性に応じた指導を展	段開する。	
	置学部	(3) 小学部 中学部		-			④ 小中学校への支援や関係機関との連携を図り、地域のセンター的行	<b>没割を果たす。</b>	
				情			⑤ 就学前の障害のある幼児や保護者に対する相談機能を果た	す。	
情生	<b>児・児童 徒 数</b> 202名 (小学部143名、中学部59名)			畐 お	到 籍 犬	善実 旅 ジ	29.8%(直接交流 54 %、間接交流 45 %) [平成28年度実績]		
学 		45学級(小学部32学級、中学部13学級)		報学	单校 評		<ul><li>・回答率(保護者84.4%、教員100%)</li><li>・保護者満足度平均87.2%</li></ul>		
		.5台(大型5台) 亚成20年8月萬姓区水三1 - 22 - 272 移転					NAME OF TOTAL OF THE STATE OF T		
そ	の他	平成29年8月葛飾区水元1-23-3に移転 特別支援教育センター校(支援エリア:葛飾区)		1	トーム	ペーシ	http://www.mizumoto-sh.metro.tokyo.jp/		
		和为人版教育 20 / 人 (人)(人)(一) / 人 (本)(四)							
目指	す学校		)自己実現と社会				けた基礎となる力を育成する学校		
目指		児童・生徒の <b>今年度の</b> 重点目標		☆参加	□•自ऽ	立にす	今年度の取組と自己評価		
目指	一人一人	児童・生徒の 一	•臨床発達心理士	■   ●   ●   ●   ●   ●   ●   ●   ●   ●	<b>口•自立</b> 療法士	<b>立にも</b> こなど、	<b>今年度の取組と自己評価</b> 田的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容や打	指導方法の改 の改善を図る	
目	<b>一人一人</b> ・授業改 / PDCA	児童・生徒の <b>今年度の重点目標</b> <b>への児童・生徒の障害特性に応じた教育</b> 善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 Aサイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視	・臨床発達心理士や善を図ってきた。学ことができた。	<b>☆参加</b> ◇作業 級担任	<b>叩・自 S</b> 療法士 壬のほれ	<b>立にも</b> こなど、 ぼ全員	今年度の取組と自己評価 田的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容や打 が助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業	の改善を図る	
目標	ー <b>人一人</b> ・授業改 / PDCA	児童・生徒の <b>今年度の重点目標</b> <b>の児童・生徒の障害特性に応じた教育</b> 善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上	・臨床発達心理士や善を図ってきた。学ことができた。 ・自作教材の外部原できた。	<b>◇参加</b> ○ 作業 級担任 専門家	<b>『・自 』</b> 療法士 壬のほぼ を招聘	<b>立にも</b> :など、 :ぼ全員 引し、校	今年度の取組と自己評価 田的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容や打 が助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 日研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に	の改善を図る 取組むことが	
目	ー人一人・授業改・ / PDCA ・オリンピ・ ・教員の	児童・生徒の  今年度の重点目標  「の児童・生徒の障害特性に応じた教育  善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 「サイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視 「ツク・パラリンピック理解教育の推進 OJTの推進	<ul><li>・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。</li><li>・自作教材の外部 できた。</li><li>・オリンピック・パラリ</li></ul>	冷参加 や作業級担任 専門家	『・自』 源法士 壬のほが を招聘	<b>立にむ</b> =:など、 ぎ全員 乳し、校	今年度の取組と自己評価 知的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容やが助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 可研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する、	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国	
目標	ー人一人 ・授業改 / PDCA ・オリンピ ・教員のの	児童・生徒の	・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。 ・自作教材の外部 できた。 ・オリンピック・パラリ ・7月から夏季休業	を参加 や作業級担任 専門家 リンピッ期間に	<b>『・自』</b> 療法士 そのほん を招聘 ク教育	<b>立にむ</b> など、 ま全員 し、 がの推 が の 推 が に に が	今年度の取組と自己評価 知的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容や が助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 可研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する、 から仮校舎へ移動する物品の精査、梱包を行い、7月下旬から8	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国 月上旬にかけ	
目標①	ー人一人 ・授業の ・オリンピ・ ・教員の を ・9 ・外 ・9 ・9 ・5 ・9 ・5 ・5 ・5 ・5 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7 ・7	児童・生徒の  今年度の重点目標  の児童・生徒の障害特性に応じた教育  善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 ハサイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視 パック・パラリンピック理解教育の推進 OJTの推進  の円滑な移転と2学期以降の教育活動の開始  、仮校舎で円滑に教育活動が開始できるように、夏明間に十分な準備を行う。	・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。 ・自作教材の外部『できた。 ・オリンピック・パラリ ・7月から夏季休業 て移転作業を行い 会を実施し、仮校名	会参加 や作業担信 専門家 リンピッ間に 、87の下	<b>□・自立</b> 療法士・のほどを招聘 で名 を名 で の で で の で の で の で の で の で の で の で の	立にす になど、単し、 がの旧仮育院 は教育には教育院	今年度の取組と自己評価 の的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容やが助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 内研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する から仮校舎へ移動する物品の精査、梱包を行い、7月下旬から8 舎の教育環境整備を完了させた。保護者、地域、関係諸機関向け 動について理解を得られることができた。	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国 月上旬にかけ の仮校舎内覧	
目標①目標	ー人一人 ・授 PDCA ・オリ員の ・教 校 月 業 か 以 ・新しい 料	児童・生徒の <b>今年度の重点目標</b> <b>への児童・生徒の障害特性に応じた教育</b> 善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 (カサイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視 (カウ・パラリンピック理解教育の推進 OJTの推進 <b>への円滑な移転と2学期以降の教育活動の開始</b> 5、仮校舎で円滑に教育活動が開始できるように、夏 明間に十分な準備を行う。 教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から	・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。 ・自作教材の外部『できた。 ・オリンピック・パラリ ・7月から夏季休業 て移転作業を行い 会を実施し、仮校名 ・2学期以降、仮校	会参加 や作業担任 専門ンピッ 間に 別の下ででのの	<b>□・自立</b> 療法士のほどを招聘でいる。 では、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	立にす になど、単し、 がの旧仮育院 は教育には教育院	今年度の取組と自己評価 の的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容や が助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 内研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する、 から仮校舎へ移動する物品の精査、梱包を行い、7月下旬から8 舎の教育環境整備を完了させた。保護者、地域、関係諸機関向け	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国 月上旬にかけ の仮校舎内覧	
目標①	ー人一人 ・授 PDCA ・オリ員の ・教 校 月 業 か 以 ・新しい 料	児童・生徒の  今年度の重点目標  の児童・生徒の障害特性に応じた教育  善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 ハサイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視 パック・パラリンピック理解教育の推進 OJTの推進  の円滑な移転と2学期以降の教育活動の開始  、仮校舎で円滑に教育活動が開始できるように、夏明間に十分な準備を行う。	・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。 ・自作教材の外部『できた。 ・オリンピック・パラリ ・7月から夏季休業 て移転作業を行い 会を実施し、仮校名	会参加 や作業担任 専門ンピッ 間に 別の下ででのの	<b>□・自立</b> 療法士のほどを招聘でいる。 では、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも、 でも	立にす になど、単し、 がの旧仮育院 は教育には教育院	今年度の取組と自己評価 の的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容やが助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 内研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する から仮校舎へ移動する物品の精査、梱包を行い、7月下旬から8 舎の教育環境整備を完了させた。保護者、地域、関係諸機関向け 動について理解を得られることができた。	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国 月上旬にかけ の仮校舎内覧	
目標①目標②	ー人 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	児童・生徒の 今年度の重点目標 の児童・生徒の障害特性に応じた教育 善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 はサイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視 がウ・パラリンピック理解教育の推進 のJTの推進 への円滑な移転と2学期以降の教育活動の開始 は、仮校舎で円滑に教育活動が開始できるように、夏 明間に十分な準備を行う。 教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から に得られるように全教職員が努める。	・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。 ・自作教材の外部できた。 ・オリンピック・パラリ ・7月から夏季休業 て移転作業を行い。 会を実施し、仮校を ・2学期以降、仮校 ロを達成することが	を級 野 ン期、含舎で 擦りのた 傷	<b>□・自 S</b> 療法式に	立 に な な 全 、 が に は 教 デ 期 多 に は 教 デ 期 多 に は 数 に に は は に に に は に に は に に に に に に に に に に に に に	今年度の取組と自己評価 知的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容やが助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 内研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する から仮校舎へ移動する物品の精査、梱包を行い、7月下旬から8 舎の教育環境整備を完了させた。保護者、地域、関係諸機関向け 動について理解を得られることができた。 の集約、活用をすることで、施設、設備の不備が原因の児童・生徒の ったものの、その後減少した。児童・生徒同士の関わり合いから発	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国 月上旬にかけ の仮校舎内覧 の負傷事故ゼ 生するけがは	
目標①目標②目	ー人 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	児童・生徒の  今年度の重点目標  の児童・生徒の障害特性に応じた教育  善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 ムサイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視 ジック・パラリンピック理解教育の推進  OJTの推進  への円滑な移転と2学期以降の教育活動の開始  ら、仮校舎で円滑に教育活動が開始できるように、夏明間に十分な準備を行う。 教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から に得られるように全教職員が努める。  康で安心・安全な学校づくり  こ徒の基礎体力の向上、安全指導	・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。 ・自作教材の外部できた。 ・オリンピック・パラリ ・7月から夏季休か 会を実施し、仮校校 ・2学期以降、仮校校 ・2学期以降、気に ・転倒による打撲や 通年見られた。事由 事業所での活動中	一参加 一学級 門 ピ 期 8 でできた 繁を遊れ 第 ののた 傷を ののた した	<b>□・自 S</b> 療法は	<b>立に</b> まず 見 の 旧 は教デ 期減ここまで、	今年度の取組と自己評価 知的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容やが助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 内研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する、 から仮校舎へ移動する物品の精査、梱包を行い、7月下旬から8 合の教育環境整備を完了させた。保護者、地域、関係諸機関向け 動について理解を得られることができた。 の集約、活用をすることで、施設、設備の不備が原因の児童・生徒の ため、教員の環境整備や安全配慮について啓発を続けていく。家には、可能な範囲で捜索に協力した。	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国 月上旬にかけ の仮校舎内覧 の負傷事故ゼ 生するけがは 庭や放課後等	
目標①目標②目標	ー人 で クライン で ・	児童・生徒の <b>今年度の重点目標</b> <b>への児童・生徒の障害特性に応じた教育</b> 善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 (カサイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視 (カウ・パラリンピック理解教育の推進 (カリンピック理解教育の推進 (カリンピック理解教育の推進 (カリンピック理解教育が開始できるように、夏明間に十分な準備を行う。 (教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から (教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から (教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から (教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から (教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から (教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から (教育場所を必要をな学校づくり (表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表記を表	・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。 ・自作教材の外部できた。 ・オリンピック・パラリ ・7月から夏季休行 会を実施し、仮校校 ・2学期以降、仮校校 ロを達成することが ・転倒による打撲や 事業所での活的災 ・1泊2日宿泊防災	一	<b>□・自 」</b> 療法はは	<b>立</b> にませれる。 にはな全 、 推校校沿下 期減に際、 がすい消	今年度の取組と自己評価 知的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容やが助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 内研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する、 から仮校舎へ移動する物品の精査、梱包を行い、7月下旬から8 合の教育環境整備を完了させた。保護者、地域、関係諸機関向け 動について理解を得られることができた。 の集約、活用をすることで、施設、設備の不備が原因の児童・生徒の ため、教員の環境整備や安全配慮について啓発を続けていく。家には、可能な範囲で捜索に協力した。 の助言の下、地域自治会の協力も得ながら、一時避難所設営、生	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国 月上旬にかけ の仮を舎内覧 の負傷事故ゼ 生するけがは等 こまで、現がは等 になった。	
目標①目標②目	一人 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大 ・大	伊童・生徒の 一会年度の重点目標 への児童・生徒の障害特性に応じた教育 善と充実 外部専門員と協働し教員の専門性の向上 なサイクルの「C(評価)」「A(改善・実行)」の重視 ジック・パラリンピック理解教育の推進 のJTの推進 への円滑な移転と2学期以降の教育活動の開始 ら、仮校舎で円滑に教育活動が開始できるように、夏 間に十分な準備を行う。 教育環境に児童・生徒が早く慣れ、保護者や地域から に得られるように全教職員が努める。 康で安心・安全な学校づくり に徒の基礎体力の向上、安全指導 故ゼロ 児童・生徒のけが、行方不明をゼロに。安全	・臨床発達心理士・ 善を図ってきた。学 ことができた。 ・自作教材の外部できた。 ・オリンピック・パラリ ・7月から夏季休行 会を実施し、仮校校 ・2学期以降、仮校校 ロを達成することが ・転倒による打撲や 事業所での活的災 ・1泊2日宿泊防災	一	<b>□・自 」</b> 療法はは	<b>立</b> にませれる。 にはな全 、 推校校沿下 期減に際、 がすい消	今年度の取組と自己評価 知的障害教育外部専門員から継続的に助言を受け、授業内容やが助言を受け、子供の様々な見方を学び、指導に生かす中で授業 内研修会を実施した。児童・生徒の深い学びを促す教材の作成に として、日本の国技である「相撲」に取組んだ。「相撲」を体験する、 から仮校舎へ移動する物品の精査、梱包を行い、7月下旬から8 合の教育環境整備を完了させた。保護者、地域、関係諸機関向け 動について理解を得られることができた。 の集約、活用をすることで、施設、設備の不備が原因の児童・生徒の ため、教員の環境整備や安全配慮について啓発を続けていく。家には、可能な範囲で捜索に協力した。	の改善を図る 取組むことが ことで、我が国 月上旬にかけ の仮を舎内覧 の負傷事故ゼ 生するけがは等 こまで、現がは等 になった。	

今年度 | 目標|実績 26年度 27年度 28年度 |30年度||31年度||32年度 数 今年度の数値目標の内容 目標 実績 目標|実績 目標|実績 目標 目標 目標 値 目標① 外部専門員5職種8名を年間任用し、毎月協議会を実施する。 月1回 月1回 月1回 月1回 月1回 目 目標② 円滑な校舎移転、安全な教育環境の整備を行う。 完成 完了 目標③ 大規模災害を想定した1泊2日宿泊防災訓練を実施する。 実施 実施 実施 実施 実施